

# すかがわSDGsクイズ（小学5・6年生向け）

## Q1 ゴール1 2 「つくる責任 つかう責任」

食品ロスを減らすため、「もったいない！食べ残しぜロ推進運動」が福島県内で行われています。須賀川市内の飲食店や宿泊施設、スーパー・マーケットも参加していますが、飲食店では具体的にどのような取り組みをしているでしょうか。

- A : お客様の希望に合わせて量を調整する
- B : 必ず大盛りで出す
- C : 残したら追加料金をとる



## Q2 ゴール1 1 「住み続けられるまちづくりを」

西川中央公園は、新たな防災施設として令和6年度に整備されました。台風や大雨のときに水をためる広場がありますが、そこにためられる水の量は、25mプール何杯分でしょうか？

- A : 10杯分
- B : 42杯分
- C : 100杯分



## Q3 ゴール1 3 「気候変動に具体的な対策を」

須賀川市の「市内循環バス」は、須賀川駅から出発して町の病院やお店、公共施設などを回る便利なバスです。みんながこのバスを使うと、車の利用が減って地球にやさしくなります。どうして地球にやさしいのでしょうか？

- A : 車の数が減り、二酸化炭素が少なくなるから
- B : バスの運賃で道路をつくっているから
- C : バスが農産物を運ぶから



## Q4 ゴール1 5 「陸の豊かさも守ろう」

令和7年5月、翠ヶ丘公園の荒池で「池の水ほとんど抜く大作戦」が行われました。ヘラブナ、コイのほか、外来生物のブルーギルやブラックバス、ウシガエルのオタマジャクシが見つかりました。さて、池の水を抜いたあとに大切なことは何でしょう？

- A : 池をそのまま放っておくこと
- B : 池にもっと外来生物を入れること
- C : ゴミや外来生物を取りのぞき、池をきれいにすること



## Q5 ゴール3 「すべての人に健康と福祉を」

須賀川市では、高齢者の介護予防や認知症予防を目的として、オリジナルの体操をつくりました。みんなが元気に長生きできるように作られた体操です。座ったままでもできるこの体操の名前は何でしょうか？

- A : スーパー元気体操
- B : ウルトラ長寿体操
- C : ハッピー健康体操



## Q6 ゴール2 「飢餓をゼロに」

須賀川市では、学校給食に地元の野菜やお米を使っています。これはどんな良いことにつながるでしょうか？

- A : 地元の農家を応援できる
- B : 給食を食べると、背が2mになる
- C : 給食のメニューが毎日同じになる

